

SS-one コントローラ コマンドリファレンス

概要

SS-one コントローラのコマンド体系は、スマホからでも入力しやすいように極限まで簡略化されています。コマンド文字は1文字だけからなり、パラメーターも入力しやすいように短縮されています。たとえば、赤経 12h34m56s は、123456 と表します。

●角度指定

角度を表したい場合は整数部 2 桁以下の小数点で表します。小数点以下は省略できます。

例

35.3

10

整数部が 3 桁以上になると、赤経または赤緯とみなされます。したがって、100 度以上は表せません。もしどうしても 100 度以上の命令を使いたい場合は命令を 2 個に分けてください。

N 90

N 30

(合計 120 度)

●赤経指定

6 桁の数値で表します。

例

012345	1h23m45
--------	---------

4 桁目以降は省略できます。最低 3 桁で表わしてください。

例

085	08h50m
-----	--------

●赤緯指定

符号+6 桁の数値で表します。

例

+123456	+12°34'56"
---------	------------

4 桁目以降は省略できます。最低 3 桁で表わしてください。符号を省略した場合は+です。

カメラ命令

C インターバルシャッター

書式

C 繰り返し回数 露出時間 インターバル時間[s]

露出時間は mm:ss の形式で表します。秒の部分は省略できます。

インターバル時間は省略できます。省略した場合は設定で設定した値が使われます。

例

C 10 5 10	露出 5 分をインターバル 10 秒で 10 枚撮影します。
C 4 3	露出 3 分をインターバル初期値で 4 枚撮影します。
C 8 4:30	露出 4 分 30 秒をインターバル初期値で 8 枚撮影します。

D 確認インターバルシャッター

書式

D 繰り返し回数 露出時間 インターバル時間[s]

C コマンドと同じですが、撮影を開始する前にいったん停止します。Start ボタンを押すと撮影を始めます。また停止中に撮影枚数と露出時間を変更できます。構図などを確認してから撮影したい場合や撮影時間が決まっていない場合はこのコマンドを使います。

モザイク撮影命令

書式

N 角度

S 角度

E 角度

W 角度

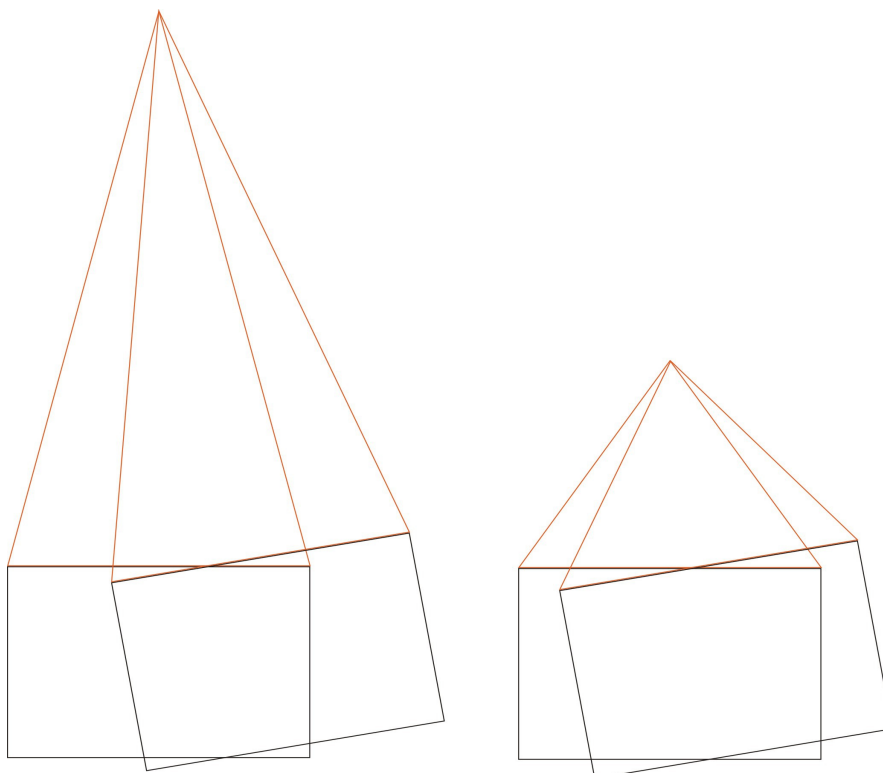
それぞれの方角に指定した角度移動します。

例

N 10	北へ10度移動
W 5.5	西へ5.5度移動

東西への移動の場合、日周運動は考慮されています。したがって、W 5とした場合、実際は5度以上動きます。またE 5とした場合は、実際に動く角度は5度未満です。

ここでいう角度は天球上の座標にもとづく角度であって、カメラの画角とは異なることに注意してください。天の赤道付近の場合は、東西方向への回転はカメラの写野の水平方向への移動に近いですが、高緯度の場合は、必ずしも一致しません。



赤道付近

北極付近

同じ 10° の回転でも移動量が違う

自動導入命令

B 同期命令

書式

B 赤経 赤緯

指定した赤経、赤緯で同期します。この命令によって移動は起こりません。

例

B 032845 -072010	赤経 3h28m45s、赤緯-7°20'10”で同期します。
------------------	--------------------------------

G 移動命令

書式

G 赤経 赤緯

指定した赤経、赤緯に移動します。

例

B 032845 -072010	赤経 3h28m45s、赤緯-7°20'10”に移動します。
------------------	--------------------------------

R リターン命令

書式

R

直近の B 同期命令で指定した赤経、赤緯に戻ります。

星景写真命令

T 追尾速度命令

書式

T 速度[0~200%]

追尾速度を0~200%の間で変更します。

例

T 0	追尾停止
T 100	恒星時追尾
T 50	0.5 倍速追尾(星景写真モード)

H 地上方向原点設定

書式

H

地上での現在向いている方向を記憶させます。

A 地上方向原点復帰

書式

A

地上方向原点に移動します。このコマンドを実行すると自動的に追尾を停止します。続いて追尾をしたい場合は T 100 を実行してください。

その他の命令

P 一時停止命令

書式

P 時間[s]

プログラムを指定された時間一時停止させます。残り時間が表示されます。時間を省略した場合は Start ボタンが押されるまで停止します。

例

P 10	10 秒間プログラムを停止します。
P	Start ボタンが押されるまで停止します。

プログラム例

■リゲルで同期をとり、オリオン座4枚モザイク(各3分4枚撮影)

B 051432 -081205	リゲルで同期
G 052826 -084521	右下の構図へ移動
D 4 3	3分4枚撮影
E 12	東へ12°移動
D 4 3	3分4枚撮影
N 8	北へ8°移動
D 4 3	3分4枚撮影
W 12	西へ12°移動
D 4 3	3分4枚撮影

■シリウスで同期をとり、冬のダイヤモンドを巡回撮影(各1分1枚撮影)

B 064550 -164455	シリウスで同期
D 1 1	1分1枚撮影
G 051516 -081145	リゲルへ移動
D 1 1	1分1枚撮影
G 043647 163151	アルデbaranへ移動
D 1 1	1分1枚撮影
G 051749 460025	カペラへ移動
D 1 1	1分1枚撮影
G 074615 275849	ポルクスへ移動
D 1 1	1分1枚撮影
G 074006 051033	プロキオンへ移動
D 1 1	1分1枚撮影

■ 追尾撮影と固定撮影の合成撮影

C 3 00:30 3	30秒3枚を追尾撮影
B 000 000	この位置を適当な座標で同期
T 0	追尾停止
C 1 00:30	30秒1枚を固定撮影
T 100	追尾再開
R	固定撮影で流れた分を戻す
C 3 00:30 3	30秒3枚を追尾撮影

H	現在の方向を記憶
C 10 5	5分10枚を追尾撮影
A	元の位置に戻す
C 3 00:30	30秒3枚を固定撮影
T 100	追尾再開